

生徒の Retelling や Sharing の質を高める
学習者用パソコンや電子黒板の活用
(SUNSHINE ENGLISH COURSE 3 PROGRAM 2 Good Night, Sleep Tight.)

①話・や

①書く

②協・整

③タブ

③TV

【ここがポイント！】

④Google スプレッドシート

①「Retelling の時間（ペア・4人グループ）の充実！」

デジタル教科書を活用し、テキストに関する内容を理解した後、写真や絵画、グラフ等を読み解き、生徒は自分が話したいことを決める。各自学習者用パソコンを使用し、話したい単語の意味や内容について調べる。その際、相手とのやりとりを意識し、難易度の高い単語は、理解しやすい単語に置き換える点も生徒は考える。生徒が話し合いたくなるように Retelling の時間を充実させ、必然的に「when など＋主語＋動詞」を含む文等の用法を使って話すことができるようにする。

②「Sharing の質を高める Google スプレッドシート（振り返りシート）！」

振り返りシートとして、Google スプレッドシートやテスト付き課題機能を活用して、授業を通して出来るようになったことや真似したい表現、質問等を生徒は入力し提出する。クラス全体で共有し活用出来そうな表現を電子黒板で提示し、生徒の言葉をつなげて、授業をまとめる。

【実践の目標】

Retelling や Sharing を通して、自分が相手に伝えたい内容を伝えることができる。

【実際の場面】

1. 教科書の本文の内容を各自で読み取る

デジタル教科書を活用し、テキストを生徒全員で共有し、テキストに関する様々な問いについて、生徒が考える場面を設定した。各自学習者用パソコンや辞書を使用し、話したい単語の意味や内容について調べた。大まかな内容を読んだり、調べたことについてまとめたりした。

2. 読んだ内容について Retelling をする

キーワードやポイントを示し、簡単に内容をまとめ、ペアやグループで交流した。学習者用パソコンや辞書で調べた単語や選択した表現の難易度について、Retelling を通じて生徒が再考出来るようにした。



3. 英文で表現する

Google スプレッドシートを振り返りシートとして活用し、条件を提示し、話したことを文字で表現した。

4. Sharing①ペアやグループで共有

書いた英文についてグループで交流し、良い所やアドバイスなどを伝え合った。交流後、再度自分の書いた Retelling を見直し、修正したり、グループのメンバーのスプレッドシートを見て、参考になる表現に置き換えたり、メンバーの反応から分かりやすい表現だと分かった表現に置き換えたりした。

5. Sharing②クラス全体で共有

*テーマについてやり取りを行う

生徒は、言いたかったが言えなかった表現や質問等を Google スプレッドシートに入力し、提出した。電子黒板を活用し、クラス全体で共有した。教師が答えるのではなく、生徒からのアイデアで解決した。

6. テスト付き課題を活用した個人の Reflection

Retelling やクラスメイトとの Sharing を通じて出来るようになったことを、テスト付き課題を解き、提出した。各生徒の学習状況に対して、教師はフィードバックを行うなど、学習評価を行った。

7. パフォーマンステストの振り返りを行う

この単元を通して出来るようになったことをまとめ、全体で交流し、次のステップへとつなげた。

【成果と課題】

【成果】

○学習者用パソコンや電子黒板を活用し、Google Workspace の様々な機能を授業に取り入れたことにより、生徒が行う言語活動の時間を以前よりも確保することができた。全体で発表するのが苦手な生徒の意見も取り上げることにより、多くの生徒の言葉を授業で取り上げたりすることができた。生徒の意見を Google ジャムボードにまとめ、次の時間には導入として活用することができた。

【課題】

○生徒に、毎回新しいシートを提出させるのではなく、単元のつながりが見える形でスプレッドシート等（振り返りシート）を作成していく必要がある。

府中町立府中緑ヶ丘中学校

